

# 新たな小型波浪計の開発と今後の展開

田村 仁

海洋利用研究領域  
港湾空港技術研究所

# 津波監視：令和6年能登半島地震で学んだこと

## 観測データの著しい不足が被災状況の把握を困難にした

### 日本海の波浪潮位観測点

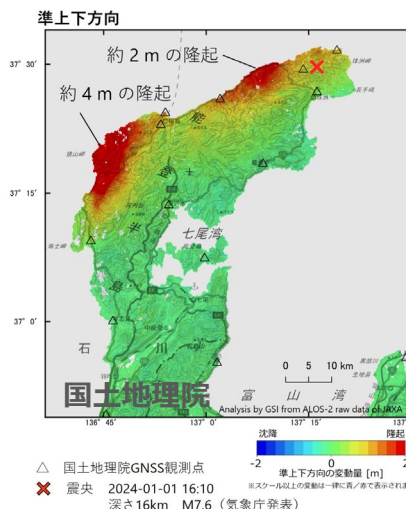
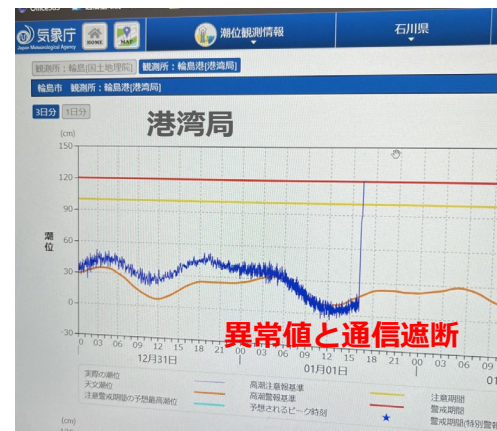
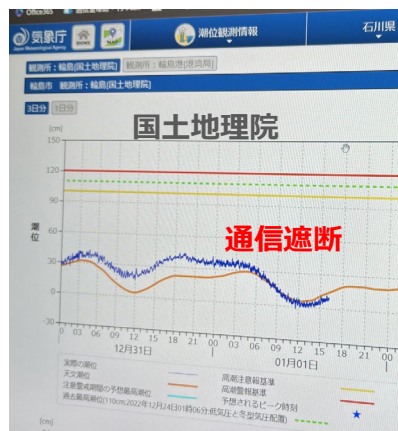


2024年1月1日時点

- : GPS波浪ブイ
- : 海象計



### 輪島潮位データ (NRT) : 2024年1月1日 17時頃



朝日新聞デジタル > 記事



「輪島で津波1.2m以上」を削除 隆起で観測に不備か  
気象庁

能登半島地震  
大山稜 2024年2月8日 19時40分

地殻変動が確認された地域では基準点の緯度経度  
や標高の値が大きく変化 ⇒ RTK補正情報は？

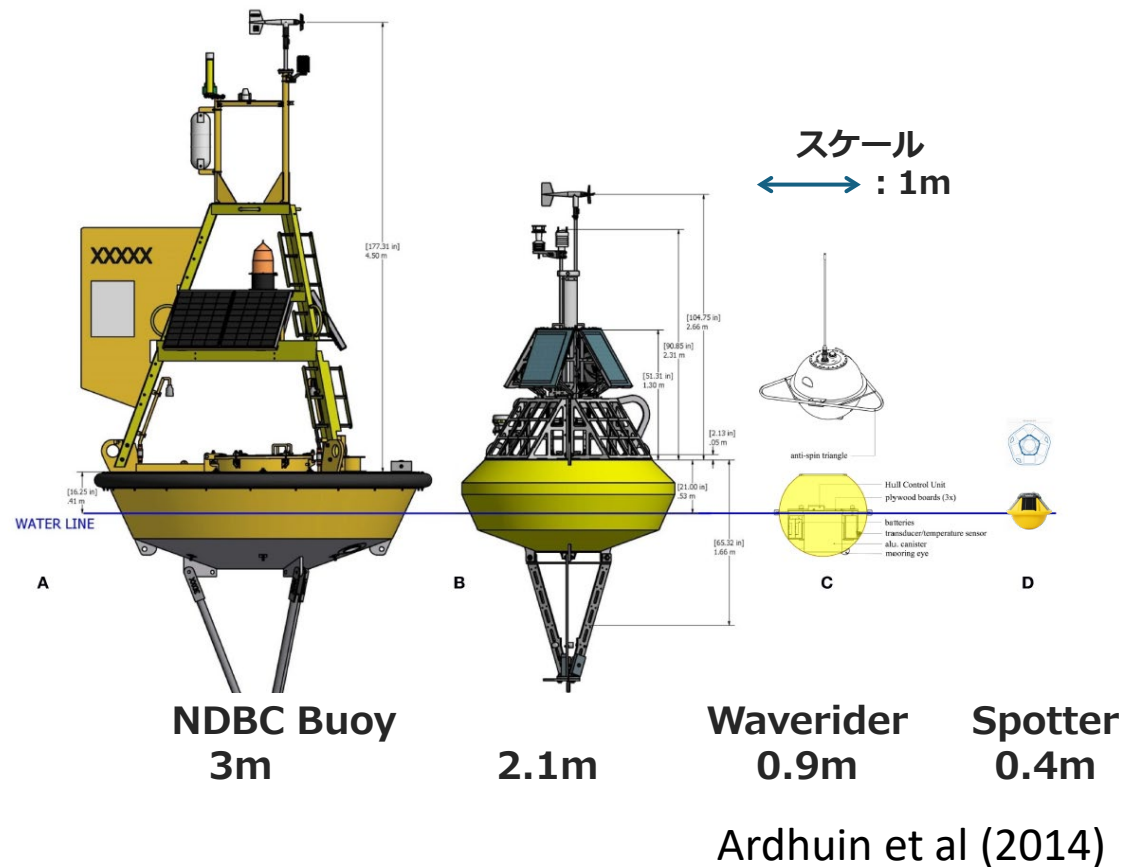
ロバスト性を高めるには冗長的分散型の観測網が必要

# 波浪観測：浮体は大型・高価から小型・低廉へ

50年前



現在



- 50年間で1/25程度の小型化
- IoTの進展により小型波浪ブイ開発のDIY化が進んでいる